

## 1. 要素リストアップ

「チェックリスト」の表示で、注記が「横書き」であっても「縦書き」と表示するエラーを修正しました。

↓ この部分がすべて「縦書き」を表示していました。

(2)	4.kih 分類コード : 8173(標高注記) [3次元要素] 縦書き 角度= 0 字大=15 字隔=4 線号=3 注記=83.4
(3)	4.kih 分類コード : 8173(標高注記) [3次元要素] 横書き 角度= 0 字大=15 字隔=4 線号=3 注記=64.8
(4)	4.kih 分類コード : 8173(標高注記) [3次元要素] 横書き 角度= 0 字大=15 字隔=4 線号=3 注記=77.2
(5)	4.kih 分類コード : 8173(標高注記) [3次元要素] 横書き 角度= 0 字大=15 字隔=4 線号=3 注記=71.1
(6)	4.kih 分類コード : 8173(標高注記) [3次元要素] 横書き 角度= 0 字大=15 字隔=4 線号=3 注記=64.8
(7)	4.kih 分類コード : 8173(標高注記) [3次元要素] 横書き 角度= 0 字大=15 字隔=4 線号=3 注記=80.6

ガイド レポート チェックリスト1 チェックリスト2 確認リスト 地形断面図作成支援 断面

メニュー「ツール」の「要素リストアップ」の「注記が縦書き」を追加しました。ONの場合、横書きの注記はリストアップしません。

要素リストアップ
✕

**データタイプ**

E1面  E2線  E3円  E4円弧  
 E5点  E6方向  E7注記  E8属性

**分類コード**

すべての分類コード  
 分類コードを選択 (1) 選択 (1) ...  
 分類コードを選択 (2) 選択 (2) ...  
 分類コードを選択 (3) 選択 (3) ...  
 砂防基礎地図の3次元取得項目

**2次元、3次元**

2次元と3次元すべて  
 3次元  
 3次元で標高値が全て0.0  
 3次元で標高値が-999より高い  
 3次元で標高値が-999より高く0.0より低い  
 3次元で標高値が-999より高く、全て同じ  
 3次元で標高値が-999より高く、一部異なる  
 3次元で標高値が-999以下  
 2次元  
 3次元の標高値  
218 m以上 220 m以下

**図形区分**

すべての図形区分  
 非区分(0)  
 射影部の上端(11)  
 射影部の下端(12)  
 表現補助データ(99)  
 表現補助データ(99)以外  
 0,11,12,99以外  
 定義以外  
 指定 11

**間断区分**

すべての間断区分  
 間断区分=0  
 間断区分=1  
 間断区分=2~9

**面(E1),線(E2)の点数**

点数は問わない  
 2点  
 3点以上

**面(E1),線(E2)の長さ・面積**

長さは問わない  
 長さを指定(2D)  
 長さを指定(3D)  
 長さの最小値  m  
 長さの最大値  m

面積は問わない  
 面積を指定(2D)  
 面積  m<sup>2</sup>未満

**その他の条件**

注記の数値の小数点以下桁数が1  
 取得年月  
1001 以上 1012 以下  
 消去年月が空白か0以外  
 要素識別番号=  
 異なるZ値がある(水平ではない)面・線  
 注記が縦書き

**処理**

リストアップ(順次)  
 リストアップ(長い方から)  
 リストアップ(高い方から)  
 該当要素を削除する  
 分類コードを変更する 6114  
 注記の線号を変更する 99  
 間断区分を0にする  
 間断区分を1にする 99  
 図形区分を変更する  
 面(E1)を線(E2)にする  
 点(E5)を方向(E6)にする  
 方向(E6)を点(E5)にする  
 円(E3)を点(E5)にする  
 点列の順序を反転する  
 標高値を10分の1にする  
 標高値を10倍にする  
 標高注記(E7)を3次元化する  
 標高値=-999mで3次元化する

レポートパネル出力